

## 近代の文化遺産の保存修復に関する研究 (①修06-09-4/5)

### 目 的

近代の文化遺産は、従来の文化財とは規模、材質など大きく違い、その保存方法や使用材料なども同様に違いがある。本研究では、その様な近代の文化遺産の保存修復を行う上で必要とされる材料と技術について調査研究を行う。また、保存修復だけでなく、活用方法についても調査研究を行い、保存の方法や修復の進め方などにおいてよりよい状態で保存できるようにすることを目指している。

### 成 果

今年度は近代化遺産の中でも屋外保存されている文化財の保存と修復に関する手法や問題点をテーマとして研究を行った。保存修復に実際に携わっている担当者の方々4人と国外の方2人を招き、屋外保存されているコンクリート建造物の利活用を考えた保存と修復方法に関する手法や問題点に関する検討会を2010(平成22)年3月1日に東京文化財研究所セミナー室にて実施した。さらに、オーストラリアにて、国立博物館や戦争記念館、パワーハウス博物館、国立海事博物館において展示物の保存方法や材料の分析手法について現地で情報交換を実施した。また国内においては愛知県豊田市の産業遺産群、新潟県佐渡市の佐渡金山関連施設、長崎県長崎市の端島(軍艦島)などの現地調査を実施した。さらに、屋外保存されている鉄道車両や航空機等の金属を主体とした文化財についても同様に現地調査を実施した。加えてそのような屋外保存されている鉄道車両や航空機などの金属を主体とする文化財の防錆対策のために各種サンプルを作成し小樽市総合博物館、船の科学館、かかみがはら航空宇宙科学博物館、大樹町多目的航空公園、海上自衛隊鹿屋航空基地での曝露実験も継続して実施している。これらの地点では、試料の受けた紫外線量をはじめ、温度、湿度などの測定も行い、これらの塗装仕様と劣化速度の相関についても検討している。屋外展示航空機の環境測定も継続している。

- ・調査施設：所沢航空発祥記念館、大樹町多目的航空公園、海上自衛隊鹿屋航空基地、知覧特攻記念館、万世特攻平和祈念館、富岡製糸場、日本橋、小樽市総合博物館、ドイツ技術博物館、愛知県豊田市の産業遺産群、新潟県佐渡市の佐渡金山関連施設、長崎県長崎市の端島(軍艦島)、福岡県志免町コンクリート製掩体壕

研究会の開催 1件：第23回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「コンクリート建造物の保存と修復について」東京文化財研究所 10.3.1

学会、研究会等での発表 4件

- ・中山俊介「コンクリート建造物の保存と活用」第23回研究会「コンクリート建造物の保存と修復について」東京文化財研究所 10.3.1
- ・中山俊介「初代南極観測船「宗谷」の保存と修復」日本機械学会合同見学会 船の科学館 10.2.12
- ・中山俊介「近代文化遺産と産業遺産—東京文化財研究所の取組み—」東京産業考古学会 物流博物館 10.2.13
- ・加藤雅人、木川りか、坪倉早智子、中山俊介「二酸化炭素処理・酸化エチレン処理がジアゾタイプ複写物に及ぼす影響」文化財保存修復学会第31回大会 倉敷市芸文館 09.6.13-14

報告書の刊行 2件：『鉄建造物の保存と活用』東京文化財研究所 60p 10.3、『Preservation and Utilization of Aircraft Heritage』東京文化財研究所 62p 10.3

### 研究組織

○川野邊渉、中山俊介、森井順之、中村明子(以上、保存修復科学センター)、横山晋太郎、長島宏行(以上、客員研究員)